

# いいにおいのするパソコン

N・A



このパソコンで「花のにおい」とけんさくすると、パソコンの穴から花のにおいがただよってくる。二〇五〇年に、おいクリエーターの「匂いかおる」氏によって作られた。いろんなにおいを好きな時におえるのが良い、とひょうばんが良く売れた。

しかし、説明書きには、こう書いてあった。「けんさくしすぎると、いろんなにおいがまざりあい、変なおいになってしまうので、もしそうなるのがいやなら別売りの『においパソコンクリーナー』をお使い下さい。』」。

# 私の家

R I N



私の家には、ある秘密がある。それは、家が生きてとびはねだすということ。月に一回、一時間くらい、とびはねているんな場所へ行くの。この前はイルミネーションがキレイだったな。あと、五月くらいには外国へも行ったよ。地震とかんちがいしそうになったけど……。私がこの前学校にちこくした理由は、家がとびはねちゃったからなんだよ。先生は信じてくれなかったけど。学校から家に帰ったとき、家がないときもあるし、あまりオススメはしないよ。おぼれたり、ぎせい者がでるときもあるから……。

# くまのきょうかしよ

たんぽぽぼうし

算数

学校の帰り道。ぼくは算数の教科書をなくしてしまつて、落ちこんでいたところだったんだ。ふいに裏山の方をむくと、茶色いもっこしたのが見えた。もっこは近付いてきて、「こう言った。「心」の声がだだもれですよ。」ぞっとしたけれど、話をきいているとどうやら、彼はタヌキみたいになるクマで、教科書のかわりをしてくれるらしい。一日一匹の魚とひきかえに。

次の日から、授業がゆううつじゃなくなった。クマは先生のはなしをちゃんときいていて、計算問題の答えを教えてくれる。ここだけの話……テストのときも。

ところが、プールの授業が終わったくらいあたりから、クマの元気がなくなつていった。ページがめくりづらくなつたし、答えもあんまり教えてくれなくなった。三カ月後くらいのこと、僕は教科書を家に忘れた。帰ってきて、探してみてもみつからない。ためいきをつきながらこたつに入ったとき、毛のかんしよくがした。変身のとけたクマだった。

次の日から、算数の教科書は学校にもっていけなかった。コタツで冬眠しているからだ。